

第3章 アンケート調査の詳細分析

第4章のアンケート結果のうち、豊島区の子どもや若者に関する施策に役立てるため、次の3つについて、詳細分析をしました。

- 1 家庭の社会経済的背景（SES）の最下層の困難な環境に対応する力（レジリエンス）の分析
- 2 子ども意見は大切にされているか
- 3 支援機関や団体の連携・協力状況

1 家庭の社会経済的背景（SES）の最下層の困難な環境に対応する力（レジリエンス）の分析

1-1 分析方法

家庭の社会経済的背景（SES: Social-Economic Status）は学力などに強い影響があると言われています。家庭の社会経済的背景（SES）最下層の家庭の子どものうち、学校の成績が高い、あるいは幸福度が高い子どもについて、保護者とのかかわりや子どもの社会的情動（自己肯定感などの非認知脳力）を把握することで、困難な環境に対応する柔軟さ・回復力（レジリエンス）となる要因を分析しました。

分析にあたっては、国際比較学力調査(PISA)、平成25,29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究（文部科学省調査、国立大学法人お茶の水女子大学「平成25年度全国学力・学習状況調査（きめ細かい調査）の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」「保護者に対する調査の結果と学力等との関係の専門的な分析に関する調査研究」）で採用された方法を参考としました。

区分基準	SES 4 区分		レジリエンス区分			
			成績		幸福度	
家庭の社会経済的背景(SES)	最上層 Highest SES	等価世帯収入 ^{※2} と両親の学歴（教育年数、例：大学卒業は16年間）を標準化した上で平均値を算出し、その高低で4区分した。 なお、社会学において家庭環境（社会経済的背景）は、所得、学歴、職業の3つの要素からなるとされており、数値に変換することが難しい職業以外の所得、学歴を区分対象とした。（平成25,29年文部科学省調査より）	SES 上位 3/4 でまん中以上	成績が「上のほう」「やや上のほう」「まん中あたり」	SES 上位 3/4 でとても幸福	「しあわせだと思いますか」の間に、「とても幸福」
	準上層 Upper SES		SES 上位 3/4 で下のほう	成績が「下のほう」「やや下のほう」	SES 上位 3/4 でまあ幸福か幸福でない	「しあわせだと思いますか」の間に、「まあ幸福か幸福でない」
	準下層 Lower SES		SES 最下層 でまん中以上	成績が「上のほう」「やや上のほう」「まん中あたり」	SES 最下層 でとても幸福	「しあわせだと思いますか」の間に、「とても幸福」
	社会的経済背景に対する回復力		SES 最下層 で下のほう	成績が「下のほう」「やや下のほう」	SES 最下層 でまあ幸福か幸福でない	「しあわせだと思いますか」の間に、「まあ幸福か幸福でない」

レジリエンスがある子どもの特長を分析

^{※2} 世帯収入を世帯人数の平方根で割ってひとりあたりの世帯収入として調整したもの。光熱水費や住居費などの世帯ごとに要する生活費は、世帯人数が多くなるにつれて割安となる傾向があるため、世帯人数の平方根で割って調整する。相対的貧困率の算出と同じ計算方法。

子どもの成長を測る指標は、学校の成績だけではないことから、本調査におけるレジリエンスを測る指標は、学校の成績と幸福度としました。区分（判断）した設問については、「第4章 3-3 家庭の社会経済的背景(SES)とレジリエンス判断の項目とその関連状況を参照してください。

また、この分析は、「第4章 2-3 生活困難について」で示した生活困難層が抱える困難に、どのように対応するとよいかの示唆をえるため、生活困難層と一般層との差が有意であった項目（第4章6、7に結果を記載）を対象としました。

1-2 分析結果のまとめ

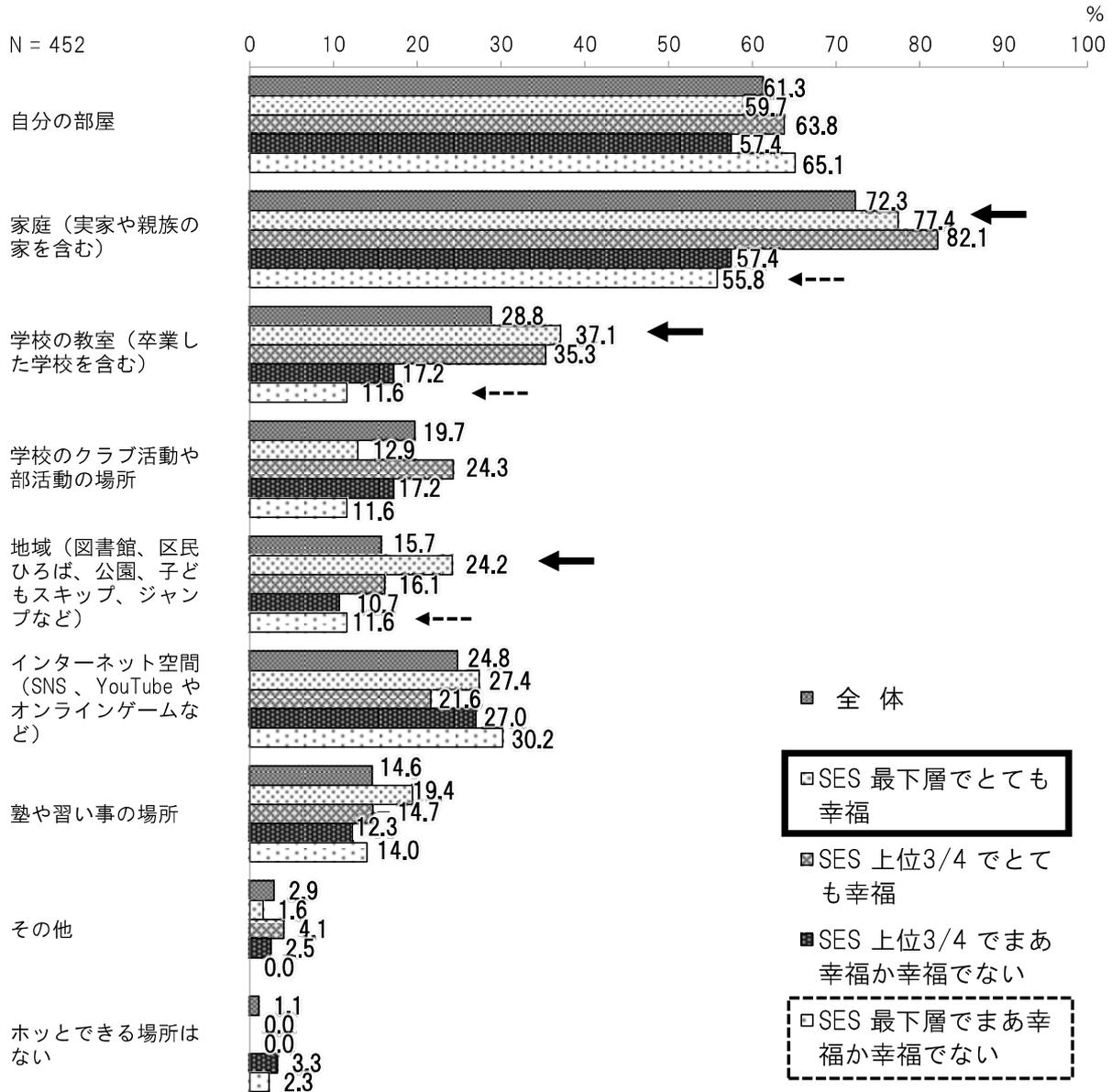
SES 最下層で学校の成績がよい、あるいは幸せと感じている（レジリエンスがある）子どもとその保護者は、次のような傾向があることがわかりました。

分析項目	対象	傾 向
成績と幸福感	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が自分の意見や気持ちを聞いてくれている ・学校で自分のペースで過ごすことができている ・20年後には子どもを育てていると思っている ・担任の先生と毎日やりとりしている
	幸福感	子ども
成績	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが親と毎日やりとりしている
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての相談、重要な事柄の相談、いざという時のお金の援助で頼れる人がいる

1-3 困難な環境に対応する力(レジリエンス)

■ 1-3-1) あなたにとってホッとできる場所はどこですか (複数回答)

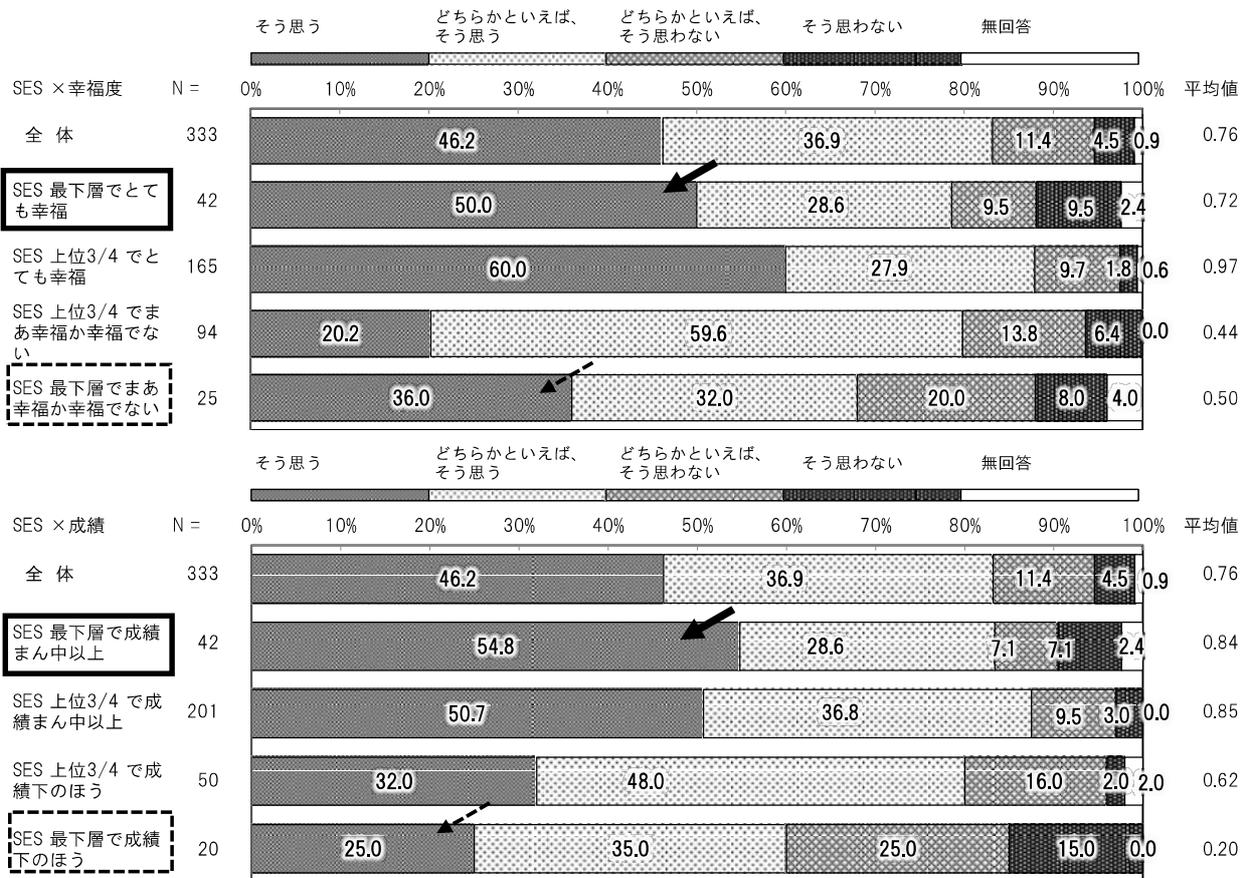
- 『SES 最下層でとても幸福』な子どもは、「家庭 (実家や親族の家を含む)」が 77.4%、「学校の教室 (卒業した学校を含む)」が 37.1%、「地域 (図書館、区民ひろば、公園、子どもスキップ、ジャンプなど)」が 24.2%で、『SES 最下層でまあ幸福か幸福でない』子どもより多く、また『SES 上位 3/4 でとても幸福』な子どもと比べると次に多いか上回りました。
- 家庭の経済社会環境が厳しいなかで、家庭、学校の教室、地域でホッとできる場所があることと幸福と感ずることには、関連がある可能性があります。



小中1 高2)

■ 1-3-2) 学校生活について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：イ 先生はあなたの意見や気持ちを聞いてくれる SA

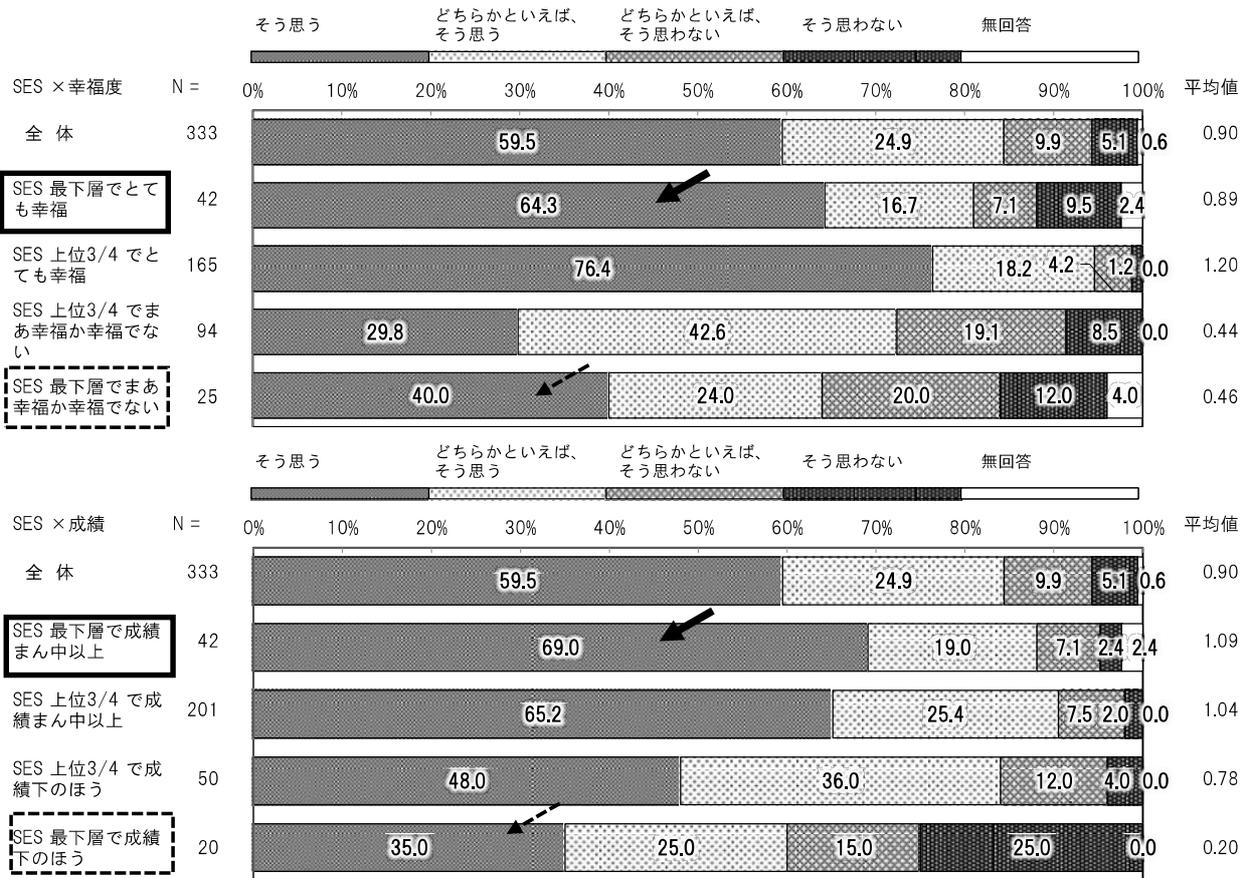
- ・『SES 最下層でとても幸福』な子どもは、「そう思う」が 50.0%で『SES 最下層でまあ幸福か幸福でない』子どもの 36.0%より多く、『SES 上位 3/4 でとても幸福』な子どもの 60.0%の次に多い結果でした。
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の子どもは、「そう思う」が 54.8%で『SES 最下層で成績下のほう』の子どもの 25.0%より多く、『SES 上位 3/4 で成績まん中以上』の子どもの 50.7%より上回りました。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、先生が自分の意見や気持ちを聞いてくれることと、幸福と感ずることや学校の成績には、関連がある可能性があります。



小中 12)

■ 1-3-3) 学校生活について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：オ 自分のペースで過ごすことができる SA

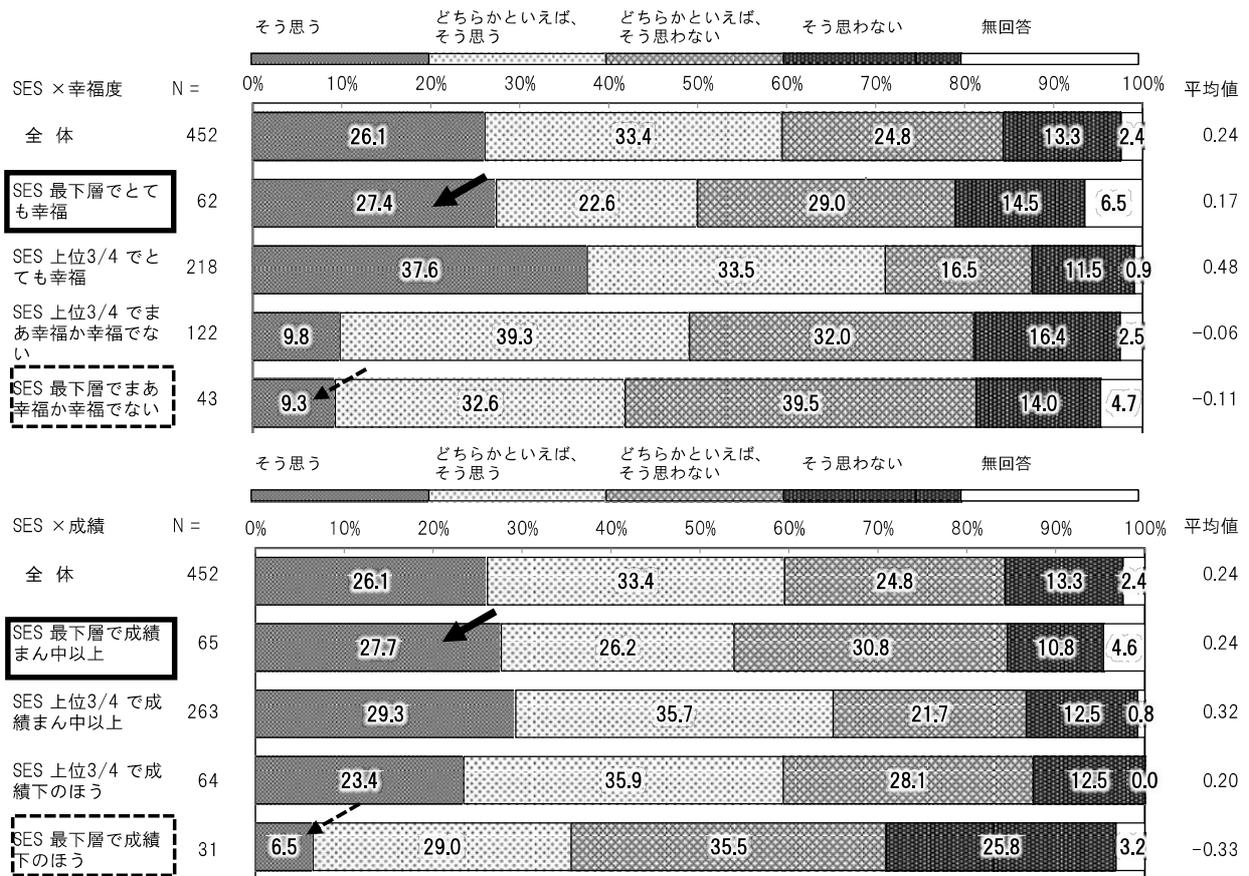
- ・ 『SES 最下層でとても幸福』な子どもは、「そう思う」が 64.3%で『SES 最下層でまあ幸福か幸福でない』子どもの 40.0%より多く、『SES 上位 3/4 でとても幸福』な子どもの 76.4%の次に多い結果でした。
- ・ 『SES 最下層で成績まん中以上』の子どもは、「そう思う」が 69.0%で『SES 最下層で成績下のほう』の子ども 35.0%より多く、『SES 上位 3/4 で成績まん中以上』の子ども 65.2%より上回りました。
- ・ 家庭の経済社会環境が厳しいなかで、自分のペースで過ごすことができることと、幸福と感ずることや学校の成績には、関連がある可能性があります。



小中 12)

■ 1-3-4) あなたは、20年後、どのようになっていると思いますか。：エ 子どもを育てている SA

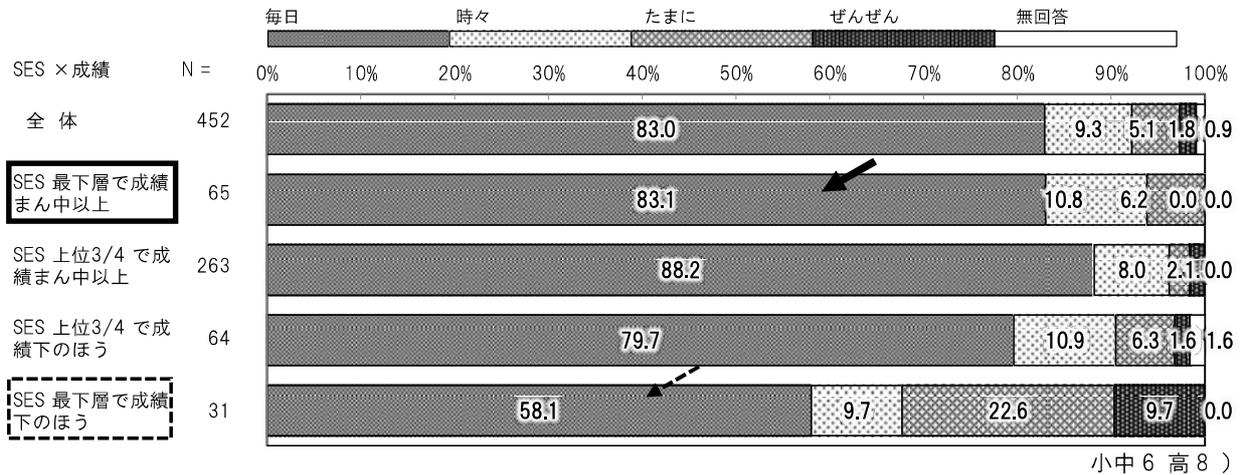
- ・『SES 最下層でとても幸福』な子どもは、「そう思う」が27.4%で『SES 最下層でまあ幸福か幸福でない』子どもの9.3%より多く、『SES 上位3/4 でとても幸福』な子どもの37.6%の次に多い結果でした。
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の子どもは、「そう思う」が27.7%で『SES 最下層で成績下のほう』の子ども6.5%より多く、『SES 上位3/4 で成績まん中以上』の子ども29.3%の次に多い結果でした。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、20年後には子どもを育てていると思うことと、幸福と感ずることや学校の成績には、関連がある可能性があります。



小中 13 高 14)

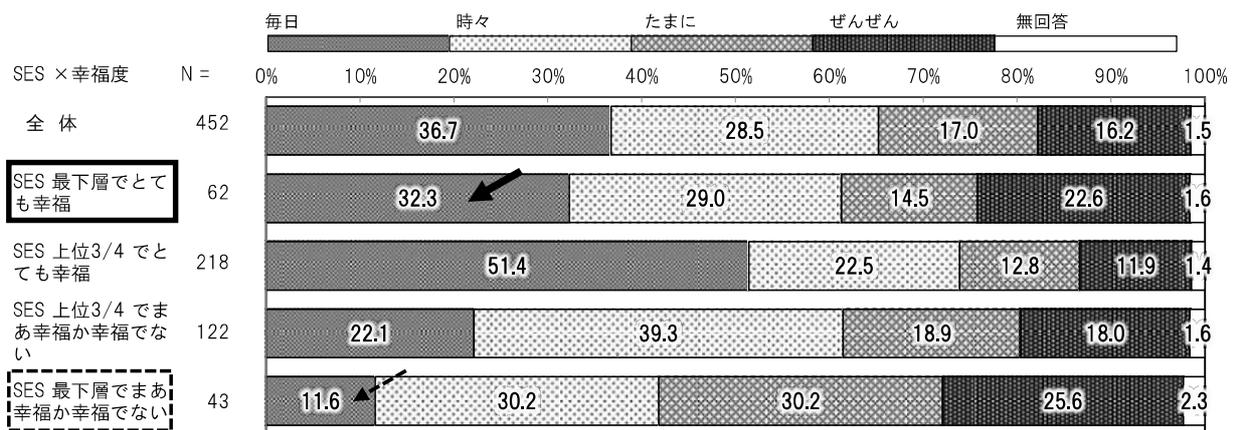
■ 1-3-5) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：ア 親 SA

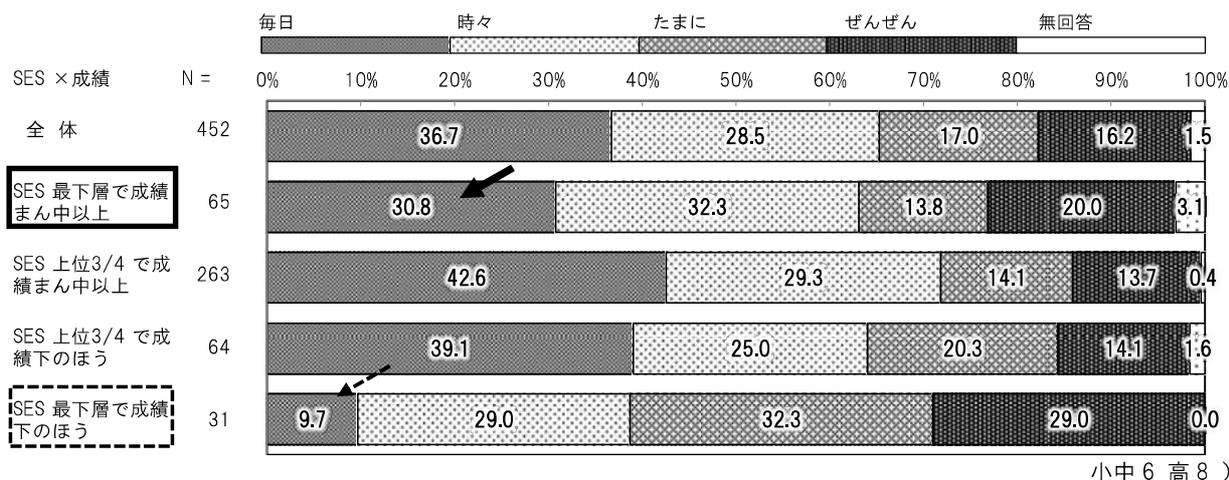
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の子どもは、「毎日」が 83.1%で『SES 最下層で成績下のほう』の子ども 58.1%より多く、『SES 上位 3/4 で成績まん中以上』の子ども 88.2%の次に多い結果でした。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、親と毎日やりとりする関係と学校の成績には、関連がある可能性があります。



■ 1-3-6) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：エ 担任の先生 SA

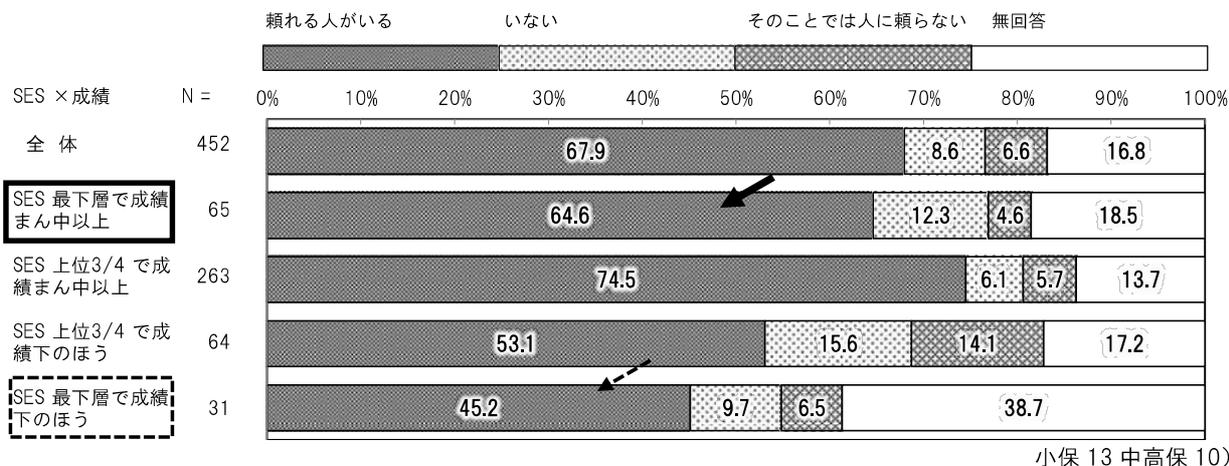
- ・『SES 最下層でとても幸福』な子どもは、「毎日」が 32.3%で『SES 最下層でまあ幸福か幸福でない』子ども 11.6%より多く、『SES 上位 3/4 でとても幸福』な子ども 51.4%の次に多い結果でした。
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の子どもは、「毎日」が 30.8%で『SES 最下層で成績下のほう』の子ども 9.7%より多い結果でした。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、担任の先生と毎日やりとりする関係と、幸福と感ずることや学校の成績には、関連がある可能性があります。





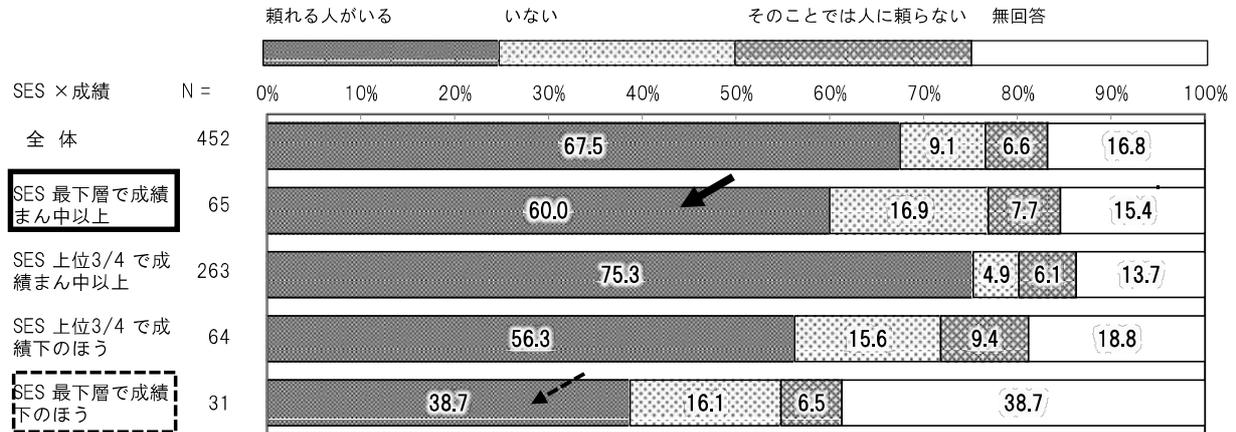
■ 1-3-7) あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。：ア 子育てに関する相談 SA

- ・ 『SES 最下層で成績まん中以上』の保護者は、「頼れる人がいる」が64.6%で『SES 最下層で成績下のほう』の保護者の45.2%より多く、『SES 上位3/4 で成績まん中以上』の子どもの74.5%の次に多い結果でした。
- ・ 家庭の経済社会環境が厳しいなかで、保護者に子育ての相談ができる人がいることと子どもの学校の成績には、関連がある可能性があります。



■ 1-3-8) あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。：イ 重要な事柄の相談 SA

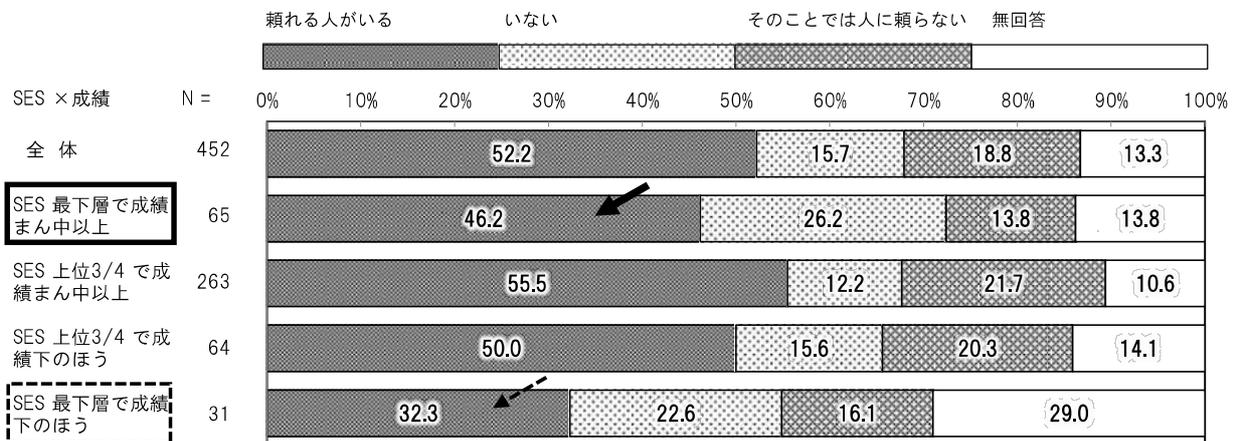
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の保護者は、「頼れる人がいる」が60.0%で『SES 最下層で成績下のほう』の保護者の38.7%より多く、『SES 上位3/4で成績まん中以上』の子どもの75.3%の次に多い結果でした。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、重要な事柄の相談ができる人がいることと子どもの学校の成績には、関連がある可能性があります。



小保 13 中高保 10)

■ 1-3-9) あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。：ウ いざという時のお金の援助 SA

- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の保護者は、「頼れる人がいる」が46.2%で『SES 最下層で成績下のほう』の保護者の32.3%より多い結果でした。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、いざという時のお金の援助で頼れる人がいることと子どもの学校の成績には、関連がある可能性があります。



小保 13 中高保 10)

2 子どもの意見は大切にされているか

今回のアンケートでは、子どもの意見が大切にされているかについて、「家庭」「学校」「地域社会」の3つのステージで、子どもからの視点と、保護者や大人からの視点で聞いています。それぞれのステージごとのアンケート結果について示します。

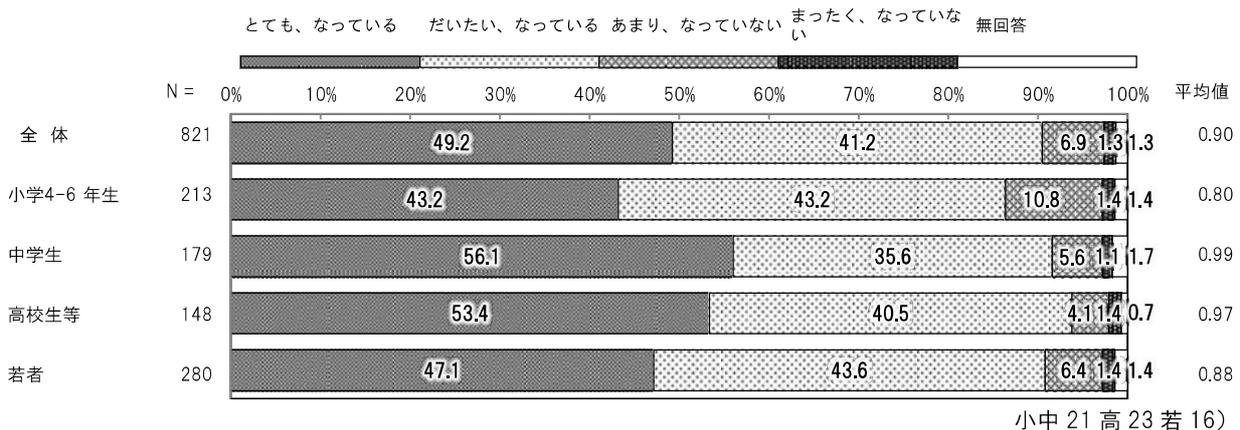
2-1 家庭での子どもの意見について

2-1-1) と2-1-2) は子どもの視点で見た家庭での意見の扱われ方です。2-1-1) では、家で何かを決める時に、小学4-6年生では86.4%が、高校生等で93.9%が意見を言えるようになってきていると答えています。また、2-1-2) では、全体の95.3%が家で意見を大切にされていると感じています。

一方で、2-1-3) ~2-1-5) は、保護者から見た子どもの意見の取り扱われ方です。2-1-3) を見ると、子どもからの視点と異なり、小学生の保護者は97.7%が意見を聞いていると答えており、特に小学生において、子どもと親の認識に、少し違いがあるようです。意見を大切にしているかどうかについては、子どもと保護者の認識に大きな違いはありませんでした。

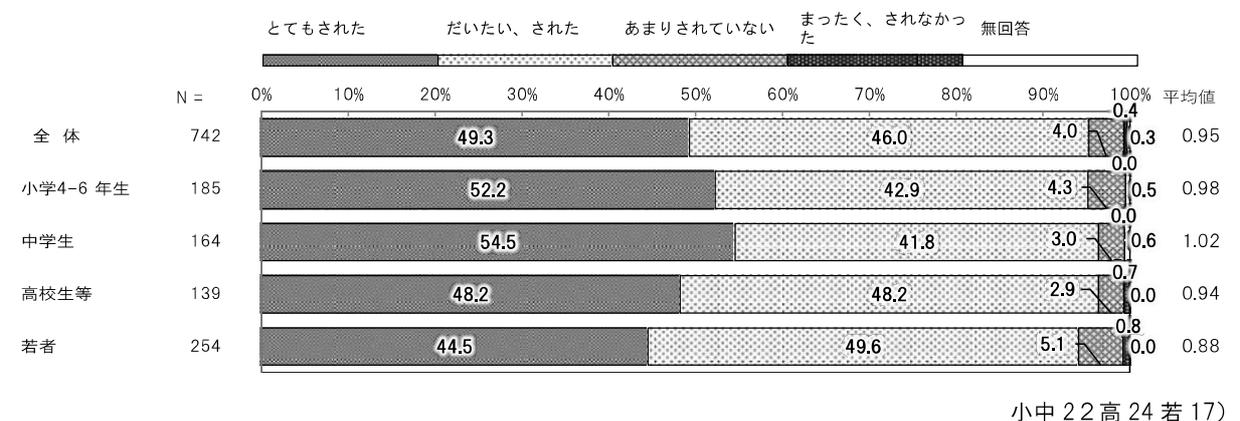
■ 2-1-1) 家で何かを決めるとき、あなたは意見を言えるようになっていきますか。 SA

- すべての対象で、「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計が「あまり、なっていない」「まったく、なっていない」の合計より多く、最も低い小学4-6年生で86.4%、最も高い高校生等で93.9%でした。



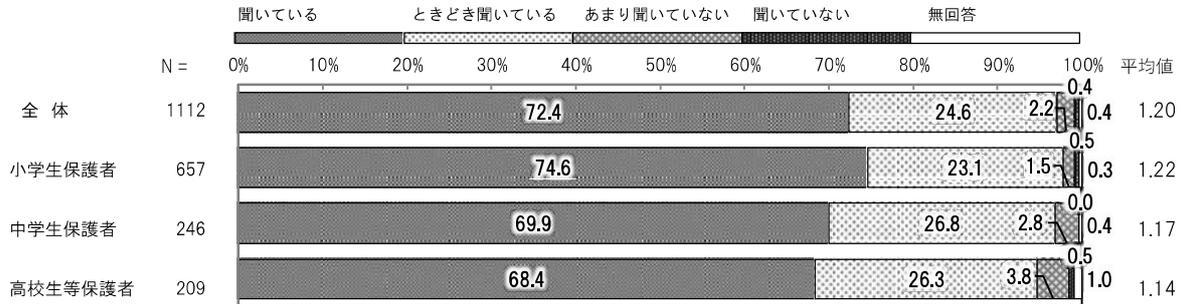
■ 2-1-2) 家であなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い若者で94.1%、最も高い高校生等で96.4%でした。



■ 2-1-3) あなたは、ふだん家で子どもの話をよく聞いていますか。 SA

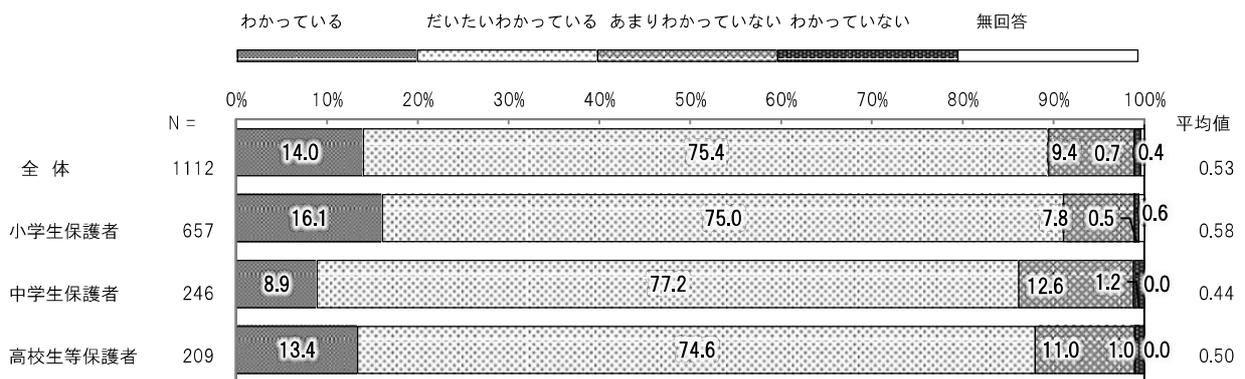
- すべての対象で、「聞いている」「ときどき聞いている」の合計が「あまり聞いていない」「聞いていない」の合計より多く、最も低い高校生等保護者で94.7%、最も高い小学生保護者で97.7%でした。



小保 17 中高保 14)

■ 2-1-4) あなたは、子どものことをわかっていると思いますか。 SA

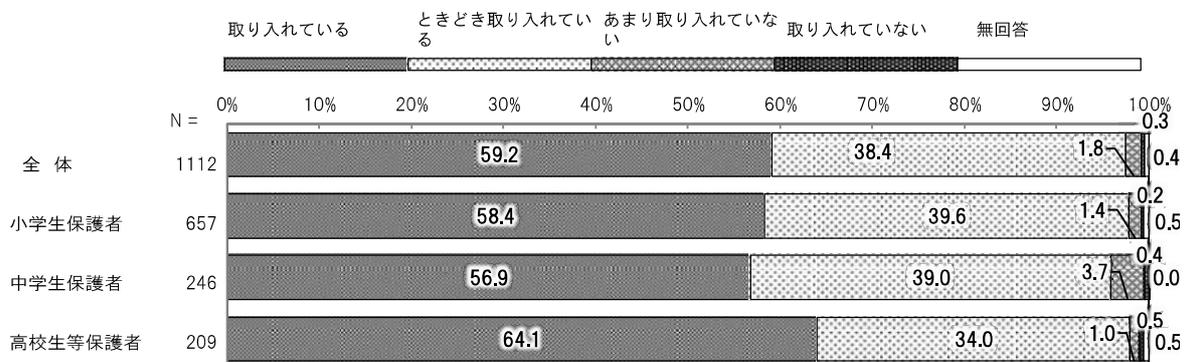
- すべての対象で、「わかっている」「だいたいわかっている」の合計が「あまりわかっていない」「わかっていない」の合計より多く、最も低い中学生保護者で86.1%、最も高い小学生保護者で91.1%でした。



小保 19 中高保 16)

■ 2-1-5) あなたは、家で何かを決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れていますか。 SA

- すべての対象で、「取り入れている」「ときどき取り入れている」の合計が「あまり取り入れていない」「取り入れていない」の合計より多く、最も低い中学生保護者で95.9%、最も高い高校生等保護者で98.1%でした。



小保 20 中高保 17)

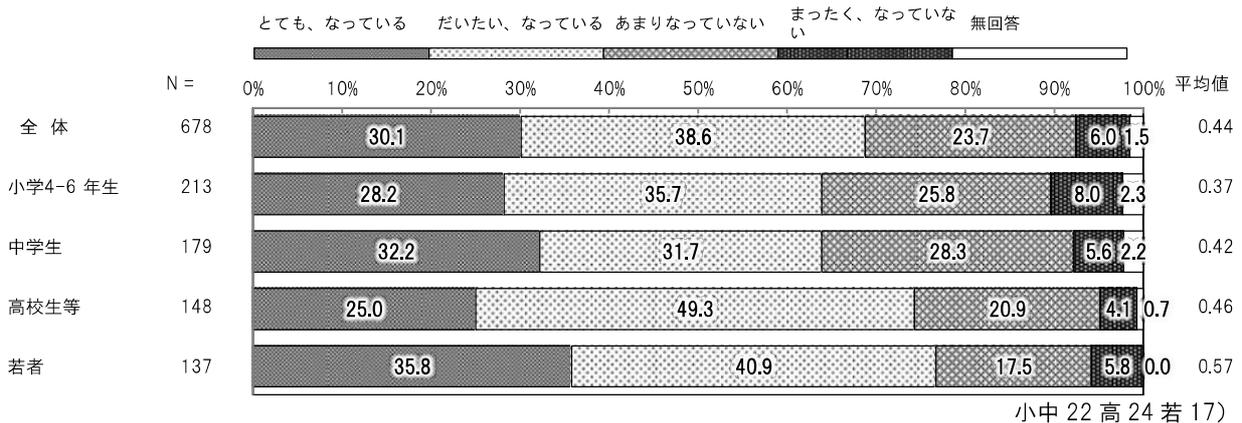
2-2 学校での子どもの意見について

2-2-1) と2-2-2) は子どもの視点で見た、学校での意見の扱われ方です。2-2-1) では、学校で何かを決める時に、意見を言えるようになっていると答えた割合は、全体で68.7%でした。

一方で、2-2-3) ~2-2-8) は、地域団体や区施設職員から見た子どもの意見の取り扱われ方です。5-1-2) を見ると区施設職員のうち75.9%が、保育所や小学校・中学校の先生ですので、区施設職員の結果には、おおよそ、保育所や学校の先生の視点が反映されていると考えられます。2-2-4) では、子どもからの視点と異なり、区施設職員の94.3%が子どもの意見や気持ちを聞く(受け止めること)が出来ていると答えており、2-2-1) での子どもとの認識と比べて25.6ポイントの差がありました。ただし、2-2-2) で子どもの視点を見ると、出した意見の94.2%が大切にされていると答えているのに対し、区施設職員では子どもの意見を実現したり反映できたりしたのが2-2-8) では79.9%となっています。つまり、子どもの意見を反映できていると考える区施設職員より、出した意見が大切にされた子どもが多く、適切に意見が扱われている状況でした。

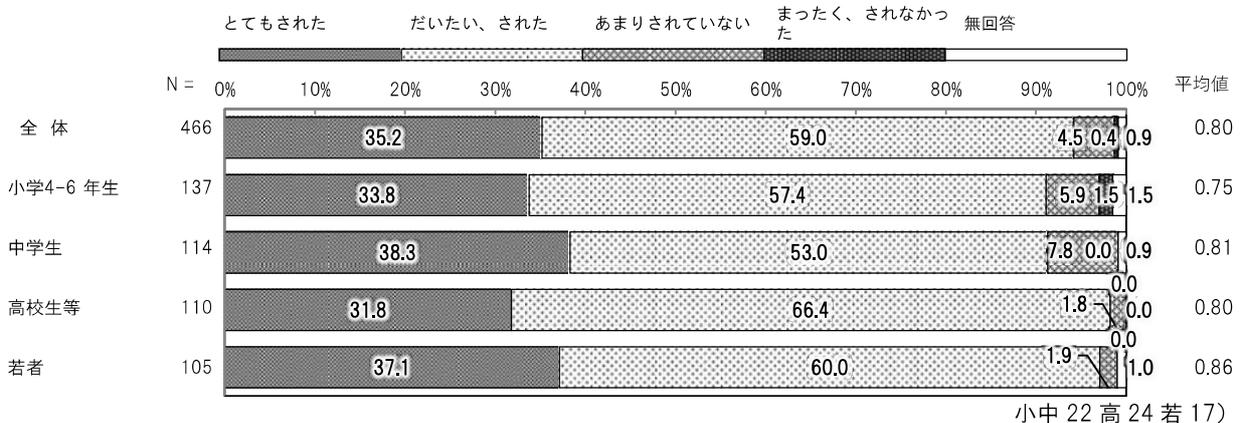
■ 2-2-1) 学校で何かを決めるとき、あなたは意見を言えるようになっていますか。 SA

- すべての対象で、「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計が「あまりなっていない」「まったく、なっていない」の合計より多く、全体で68.7%でした。



■ 2-2-2) 学校でああなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い小学4-6年生で91.2%、最も高い高校生等で98.2%でした。



■ 2-2-3) あなたの地域や団体、職場で接する子どもについて イ 安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいる SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で56.8%、区施設職員で86.7%でした。

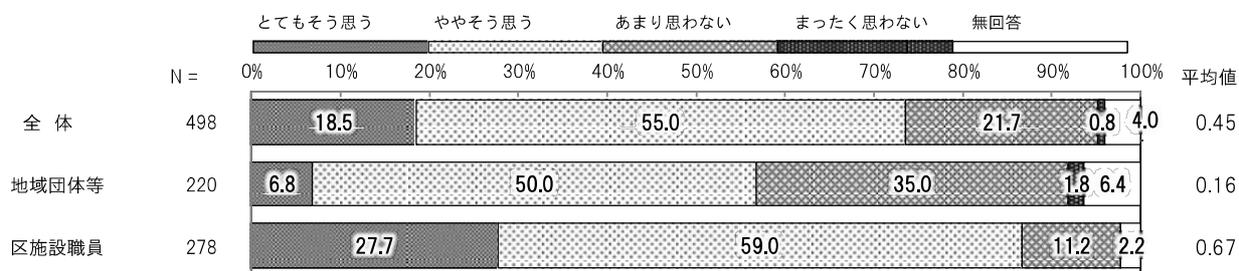


図 1.職 1)

■ 2-2-4) あなたの子どもへの対応方法について ア 子どもの気持ちや意見を聞くこと（受け止めること）ができています SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で84.1%、区施設職員で94.3%でした。

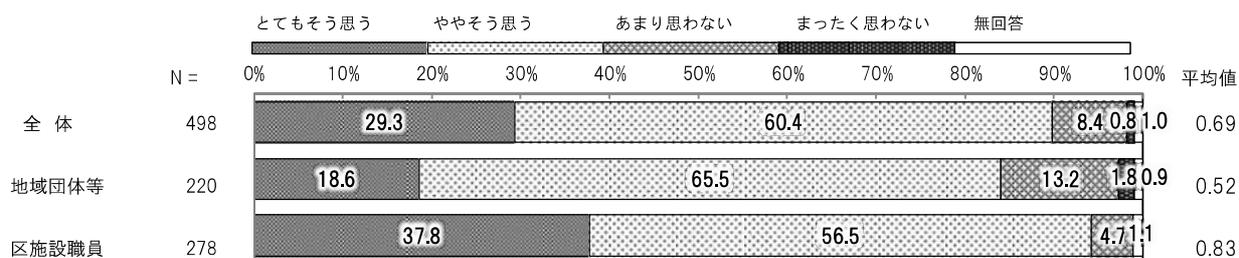


図 2.職 2)

■ 2-2-5) あなたの子どもへの対応方法について イ 地域や、団体で子どもに関わること（運営方針、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で80.5%、区施設職員で91.7%でした。

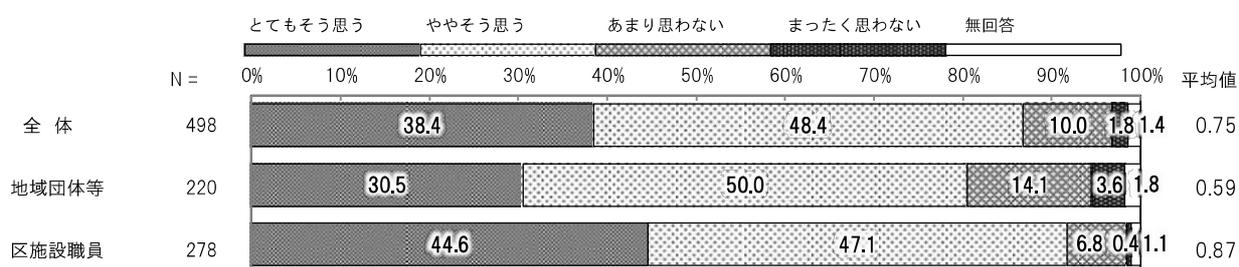


図 2.職 2)

■ 2-2-6) あなたの子どもへの対応方法について ウ 地域や団体で接する子どもたちには可能な限り自由な時間や自主性を持たせている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で80.9%、区施設職員で91.0%でした。

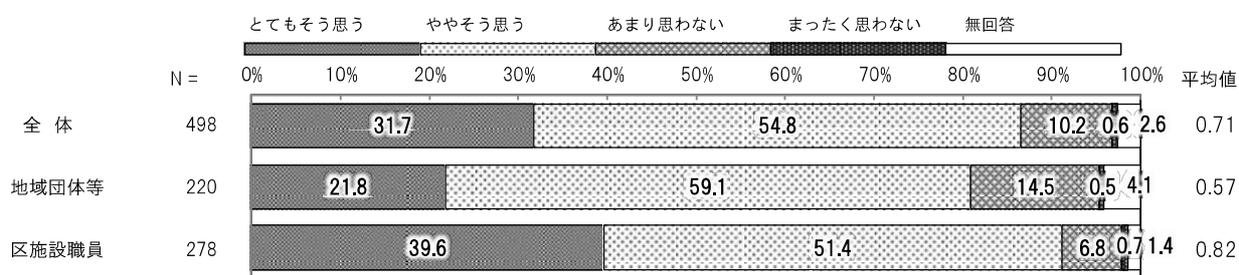


図 2.職 2)

■ 2-2-7) あなたの子どもへの対応方法について エ 団場で子どもに関わること（運営方針、行事等）を決めるとき、自分の思いや考えを自由に言えるようにしている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で79.6%、区施設職員で89.9%でした。

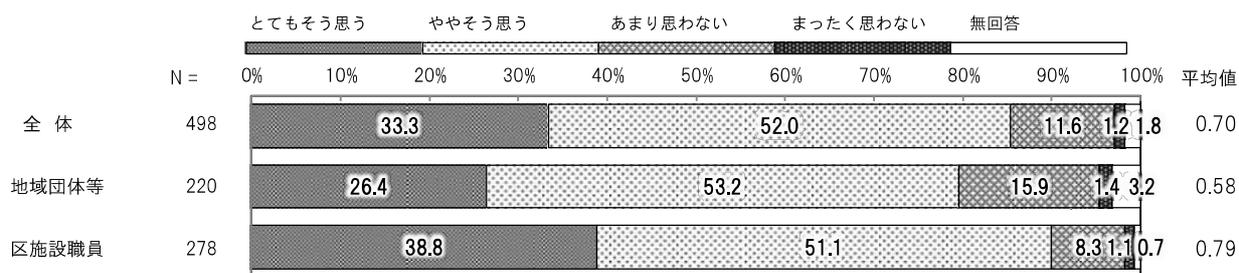


図 2.職 2)

■ 2-2-8) あなたは、子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現させたりすることができますか。 SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「できている」「だいたいできている」の合計が「あまりできていない」「できていない」の合計より多く、地域団体等で55.9%、区施設職員で79.9%でした。

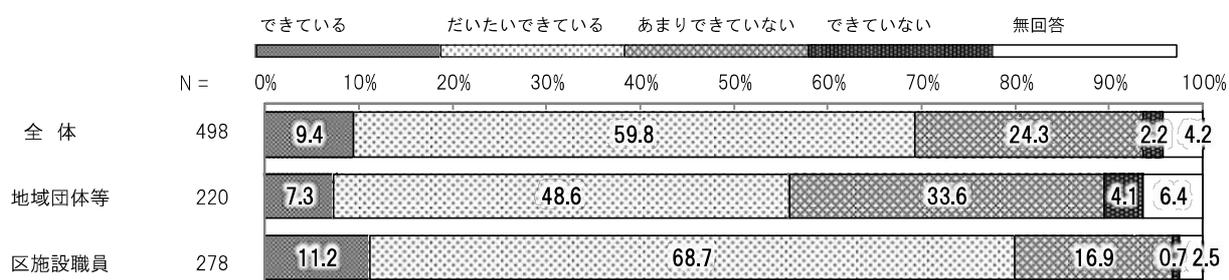


図 3.職 3)

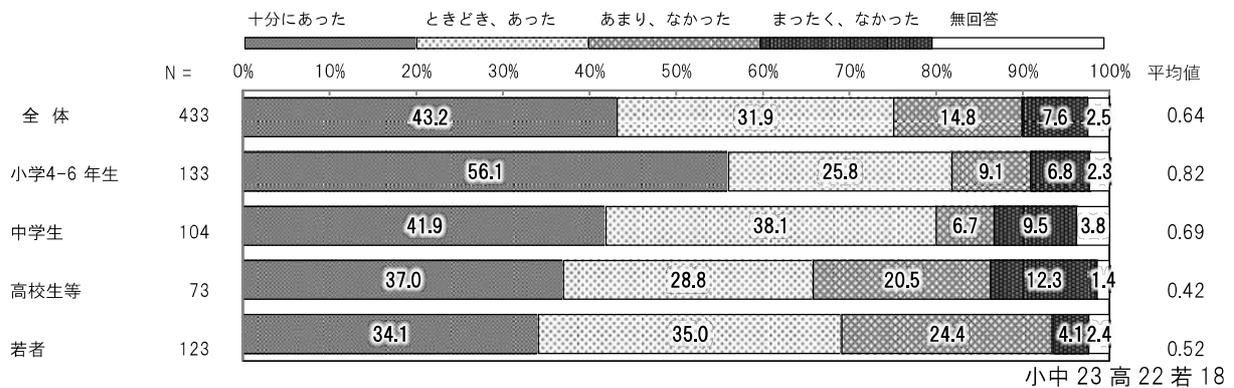
2-3 地域での子どもの意見について

2-3-1)～2-3-3)は、地域で子どもが活動する場合の、子どもの意見の取り扱われ方を示したものです。2-3-2)で見る通り、地域で意見を言えるようになってきていると答えた子どもは、全体で36.7%でした。特に高校生等の割合が低く24.7%でした。一方で、地域の大人の意見は、2-2-3)～2-2-8)の地域団体等に反映されていると考えられますが、2-2-4)で、子どもの気持ちや意見を聞くこと(受け止めること)ができていると答えている割合が84.1%と答えており、2-3-2)の子どもの回答と違いが出ています。2-2-8)では、子どもからの意見を反映させることができている割合が55.9%となっており、子どもの意見を単に聞くだけでなく、子どもが意見を言いやすい環境を作ることが必要と考えられます。

■ 2-3-1) 地域で何かをしたり、決めたりするとき、大人から事前の説明がありましたか。

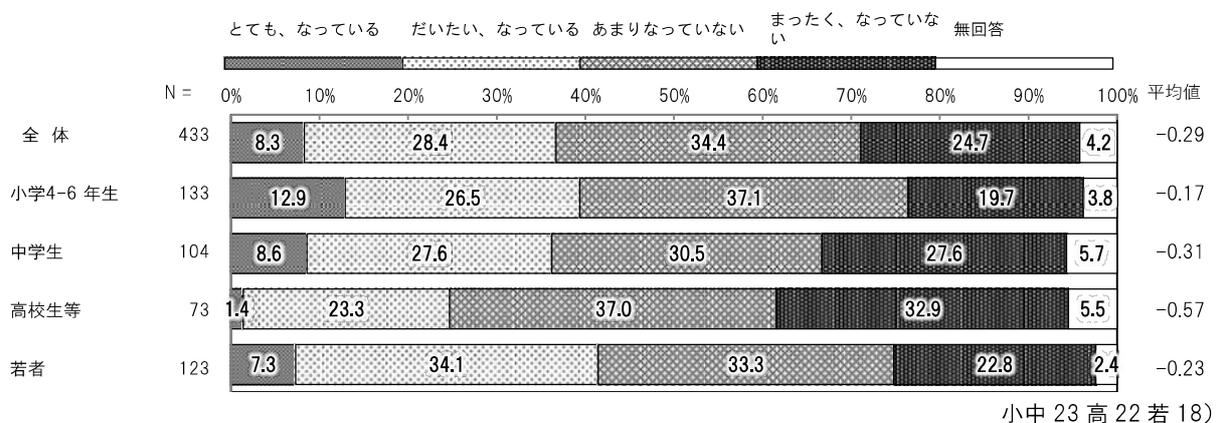
SA

- すべての対象で、「十分にあった」「ときどき、あった」の合計が「あまり、なかった」「まったく、なかった」の合計より多く、最も低い高校生等で65.8%、最も高い小学4-6年生で81.9%でした。



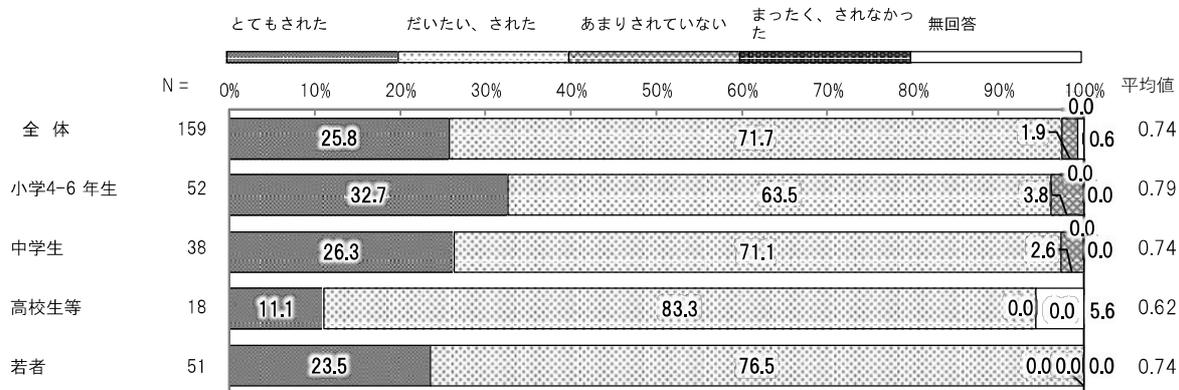
■ 2-3-2) 地域で何かをしたり、決めたりするとき、あなたは意見を言えるようになっていませんか。 SA

- すべての対象で、「あまりなっていない」「まったく、なっていない」の合計が「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計より多く、最も低い若者で56.1%、最も高い高校生等で69.9%でした。



■ 2-3-3) 地域であなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い高校生等で 94.4%、最も高い若者で 100.0%でした。



小中 23 高 22 若 18)

3 支援機関や団体の連携・協力状況

3-1-1) を見ると、地域団体等、区施設職員いずれも「小学校・中学校」と日常的に連携しており、「町会・自治会」、「民生委員・児童委員」、「子どもスキップ」とも連携をしていました。

3-1-4) のイベントの企画運営では、地域団体等、区施設職員いずれも「区民ひろば」、「町会・自治会」、「小学校・中学校」、「青少年育成委員会」、「子どもスキップ」、「民生委員・児童委員」と連携していました。

3-1-2) では、地域団体等、区施設職員いずれも「区の子ども若者課」と「社会福祉協議会」に困ったときに相談先としてあげる一方で、地域団体等は区施設職員ほど「子ども家庭支援センター」、「教育センター」、「児童相談所」、「警察署」は少ない結果でした。

3-1-3) の結果を踏まえると、地域団体等は、一部の地域団体等がカンファレンスに参加している「児童相談所」や、「子ども家庭支援センター」、「教育センター」に困ったときに相談できるようになると、より効果的な連携が進む可能性があります。

■ 3-1-1) あなたの団体や職場で、日常的に連携する機関や地域団体 (複数回答)

- ・ 地域団体等は、「町会・自治会」が最も多く 50.5%、次いで「小学校・中学校」が 49.5%、「民生委員・児童委員」が 46.4%でした。
- ・ 区施設職員は、「小学校・中学校」と「子どもスキップ」が最も多く 50.4%でした。
- ・ 地域団体等、区施設職員いずれも「小学校・中学校」と日常的に連携しており、「町会・自治会」、「民生委員・児童委員」、「子どもスキップ」とも連携をしています。

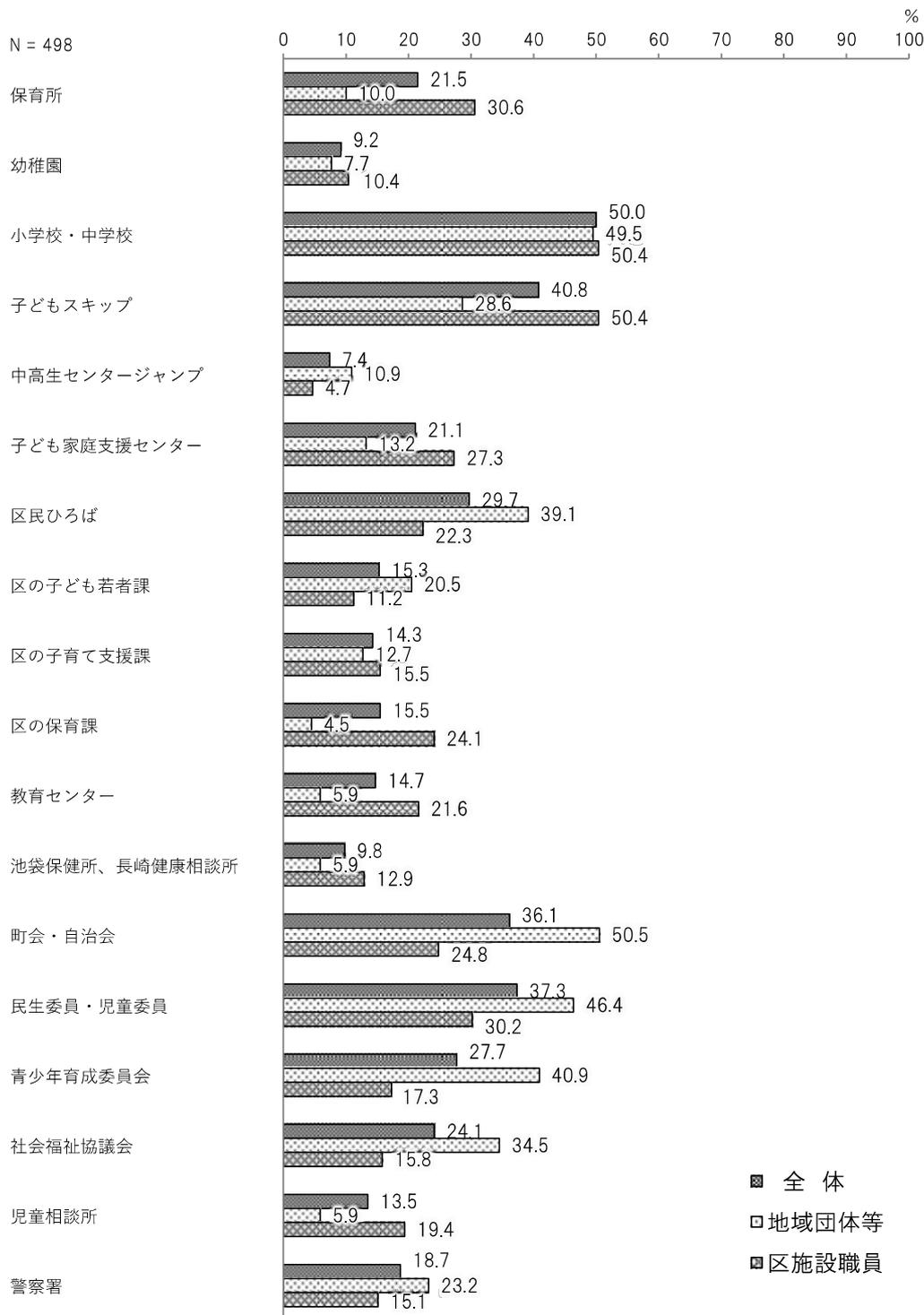


図 8.職 10)

■ 3-1-2) あなたの団体や職場で、困った時に相談する機関や地域団体 (複数回答)

- ・ 地域団体等は、「警察署」が最も多く 29.1%、次いで「民生委員・児童委員」が 22.7%でした。
- ・ 区施設職員は、「児童相談所」が最も多く 67.6%、次いで「子ども家庭支援センター」が 61.9%、「警察署」が 60.4%、「教育センター」が 53.6%でした。
- ・ 地域団体等、区施設職員いずれも「区の子ども若者課」と「社会福祉協議会」を困ったときに相談先として同程度にあげる一方で、「子ども家庭支援センター」、「教育センター」、「児童相談所」、「警察署」は、区施設職員が地域団体等より多く相談先としてあげています。

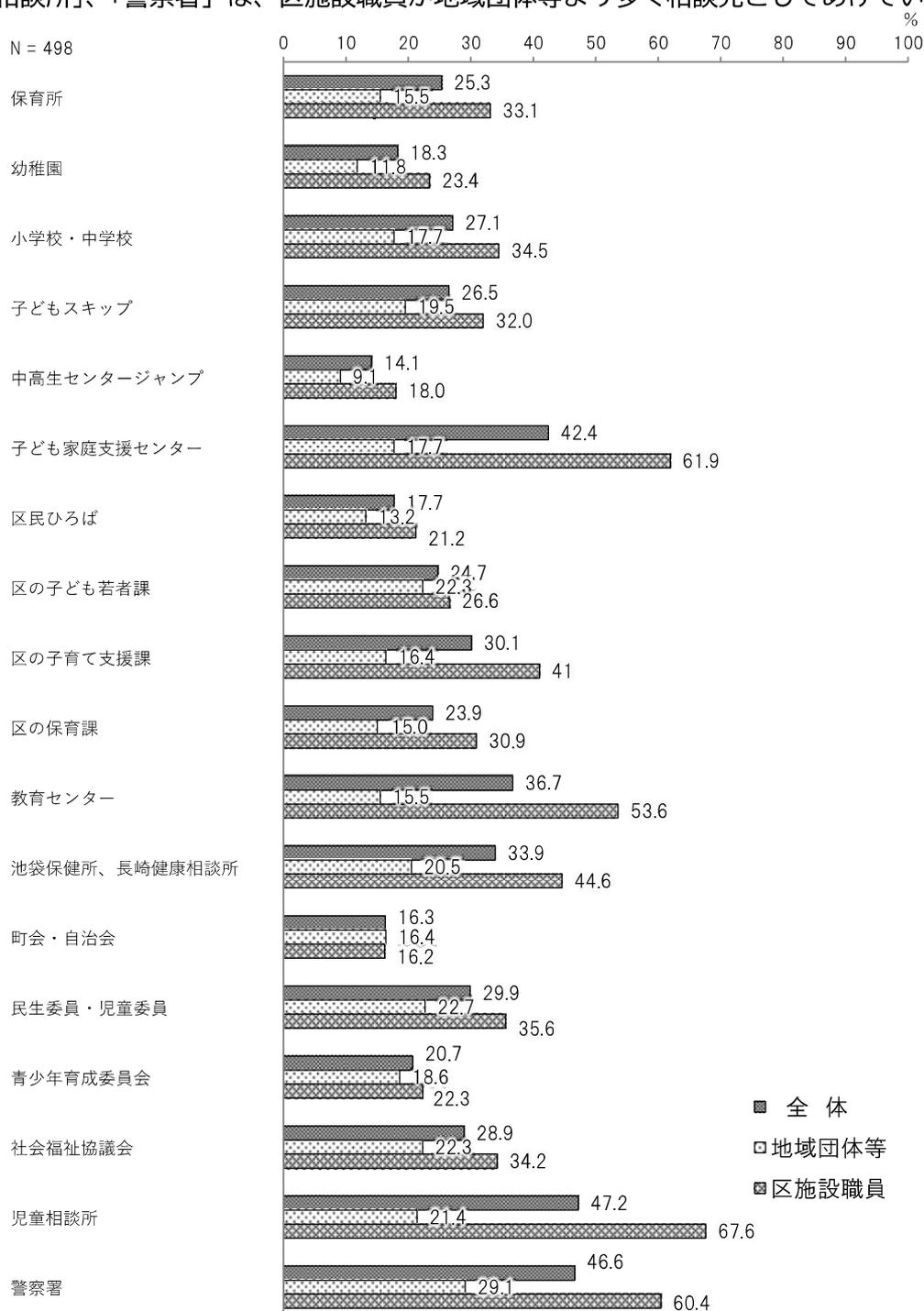


図 8.職 10)

■ 3-1-3) あなたの団体や職場で、困難事例のカンファレンスをする機関や地域団体 (複数回答)

- ・ 地域団体等は、実施機会が少なく、「警察署」が最も多く4.5%、次いで「児童相談所」が3.6%でした。
- ・ 区施設職員は、「子ども家庭支援センター」が最も多く32.7%、次いで「児童相談所」が28.1%、「教育センター」が20.5%でした。

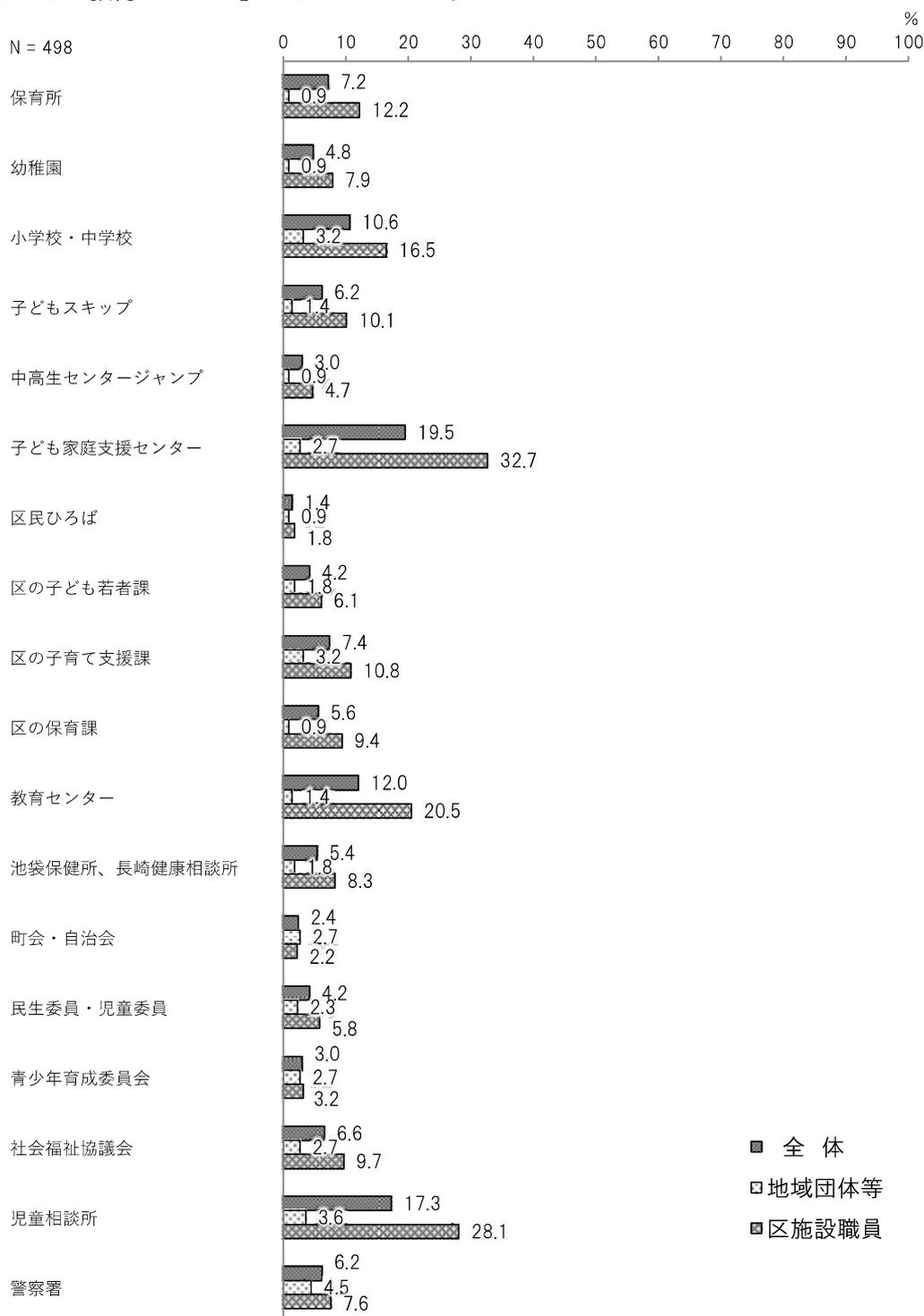
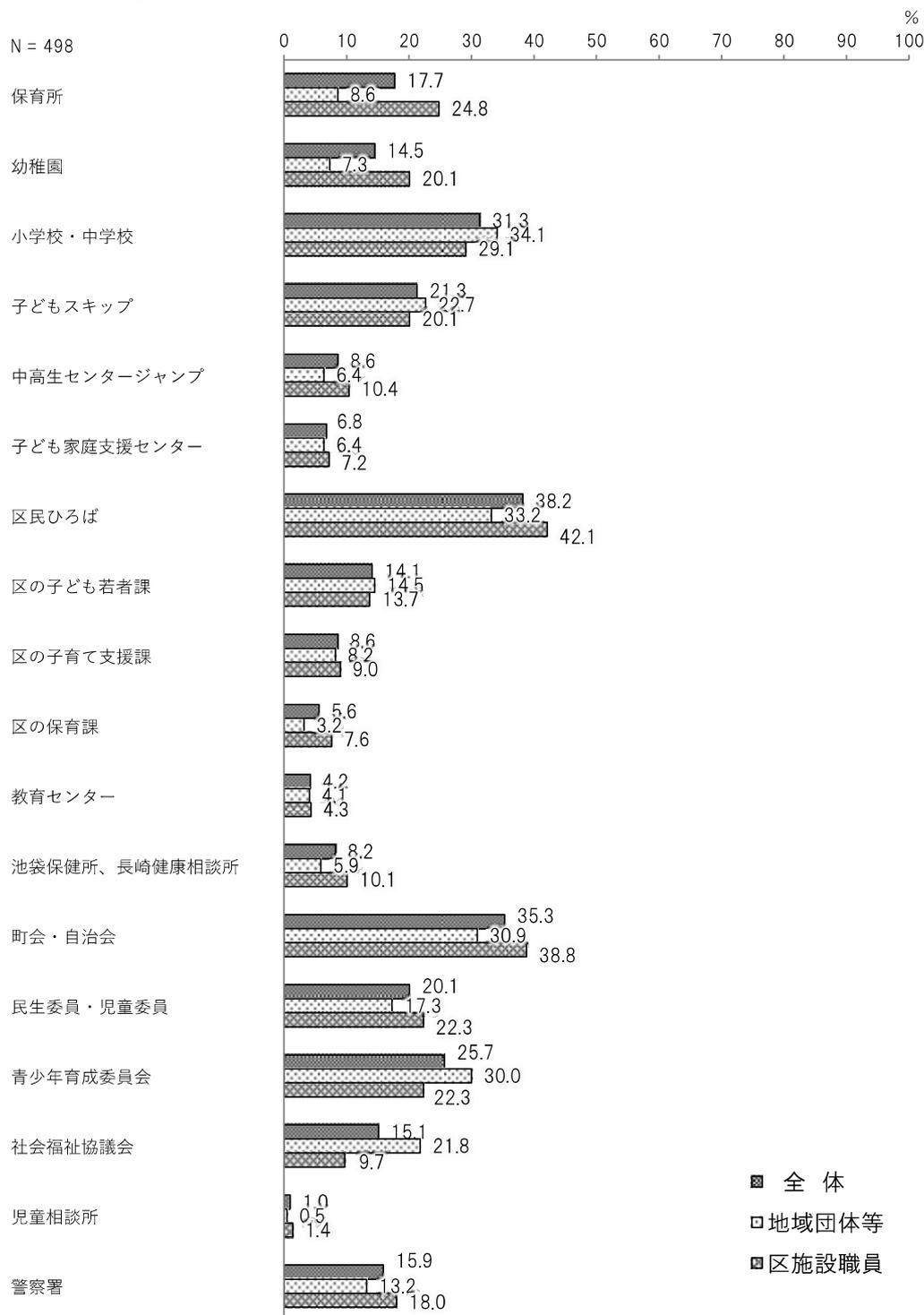


図 8.職 10)

■ 3-1-4) あなたの団体や職場で、プログラムやイベントの企画運営をする機関や地域団体
(複数回答)

- ・ 全体は、「区民ひろば」が最も多く 38.2%、次いで「町会・自治会」が 35.3%、「小学校・中学校」が 31.3%、「青少年育成委員会」が 25.7%、「子どもスキップ」が 21.3%、「民生委員・児童委員」が 20.1%でした。



団 8.職 10)

■ 3-1-5) あなたの団体や職場で、連携・協力していない機関や地域団体 (複数回答)

- ・ 地域団体等は「幼稚園」が最も多く 49.1%、次いで「中高生センタージャンプ」が 48.2%、「区の保育課」が 47.7%、「教育センター」が 46.8%、「保育所」が 46.4%でした。
- ・ 区施設職員は、「中高生センタージャンプ」が最も多く 54.3%、次いで「幼稚園」と「区の保育課」が 36.3%でした。

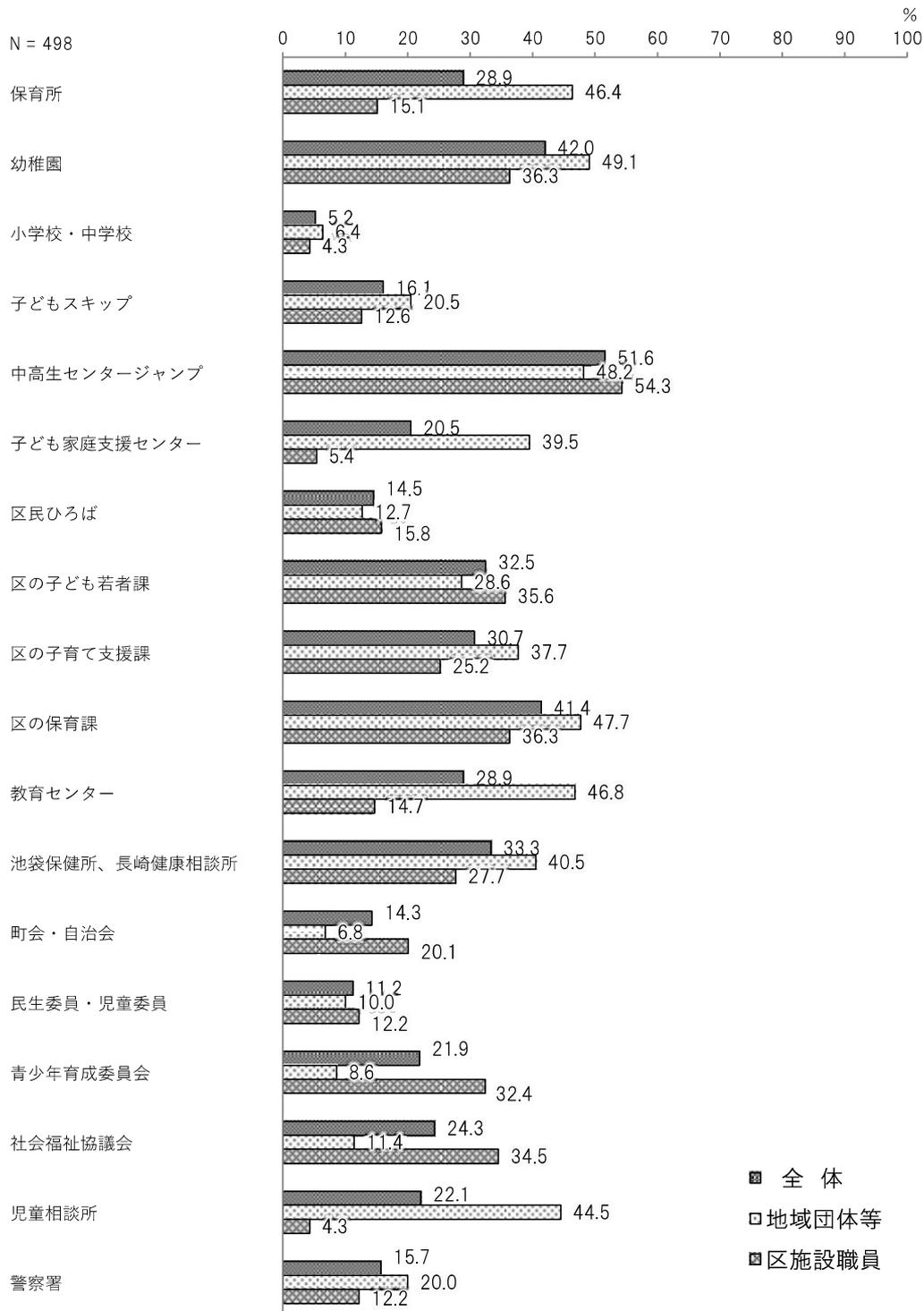


図 8.職 10)